

故人を偲び、共に語る大切な供養 真心を込めてお手伝いいたします。

故人のありし日を偲び、ご親戚をはじめ
ゆかりの方々で想出を語るひととき…。

ホテル黒部では、大切なその日を真心込めた
おもてなしの心でお手伝いさせていただきます。
また、古来からの伝統を大切に受け継ぎ、
心静かに執り行っていますように、
趣深い会場をご用意しております。

ご案内

ご案内状をはじめ、引出物、遺影葬花、
献花などご用命を承っております。

会場

お集まりの人数に合わせて会場をお選びいただけます。
心なごむ雰囲気、ゆきとどいたおもてなしは皆様にきっと
ご満足いただけるものと存じます。

ご法要の心得

お日取りをきめます

ご命日の直前の休日に執り行うケースが多いよう
です。また、ご法要式は午前中に営まれ、ご会食を昼
食に合わせられるのが一般的ですが、遠方よりお招
きする方が多い場合には無理のないお時間に合わ
せられるといでしよう。
ホテルへのお申し込みは、なるべく早めに済ませ
ますと、これからのご準備にゆとりができ、なにか
と安心です。

ご案内状を手配します

お身内やごく親しい方だけの場合には、お電話で
のご案内でかまいませんが、多くの方々をお招き
するときはやはりご案内状が必要となります。当ホ
テルでは、お忙しい施主様に代わりご案内状の作
成から宛名書きまでを代行させていただきますの
で、名簿の整理をお早めに済ませますようお願
いいたします。
また、一周忌の場合は、故人のご生前親交のあつた大
勢の方々へ、ご案内状をさしあげるのが一般的です。

ご案内状を投函します

ご出席人数がほぼ確定したら、お席
順、お料理、お引出物等を手配します。お
料理は、出席される方々の年齢層や好み
などを考慮されるとよいでしょう。お引
出物のご予算は、3000円～5000
円の範囲を安全に軽く持ち運びが楽な
ものが好まれているようです。

ご出欠を確認し、 当日の準備に入ります。

ご法要式、ご会食、お引出物等、細部にわ
たって担当者より最終確認させていた
だきます。

一周忌法要の場合には、施主側は喪服は
着用せず、礼服もしくは略礼服というの
が一般的です。回忌を重ねることに礼服
もダークスーツとなるようですが、一般
参列者よりも軽装にならないよう気を
つけましょう。また、当日の進行は、ご法
要式に約三十分、ご会食に約一時間とい
うのが一般的です。
当日ご持参いただくものとして、故人の
遺影・位牌または、過去帳をお忘れなくご
用意ください。

ご法要の種類

仏式

仏式では四十九日が忌明け。それまでは七日ごとにご供養をい
たします。特に四十九日はとても重要な忌日ですので、親族、故
人の友人、知人を招いて供養をして会食をするのがならわし
です。四十九日のあとは百日、一周忌(満一年目)、三回忌(満二
年)、七回忌(満六年)、十三回忌、十七回忌、二十三回忌、二十七
回忌、三十三回忌、三十七回忌、五十回忌、百回忌となります。

※宗派によって異なりますが、おりく膳・餅・お団子・仏飯等
いづれかのご用意が必要です。

神式

神式では仏式の法要にあたる儀式を「靈祭」といいます。葬儀の
翌日の靈祭を翌日祭、逝去後十日目の十日祭にはじまり、十
日ごとにとり行います。忌明けは五十日祭で、これが仏式の
四十九日に相当します。この後、百日祭、一年祭、三年祭、五年
祭、十年祭と続き、その後の十年ごとに靈祭が行われ、百年祭
まで式年祭が続きます。

※一般的にご用意されています供物として、米・酒・卵・餅・
魚・塩・水・果物・海菜・野菜・菓子・玉串参列者分などお
手配されています。

※ホテル黒部でも仏式・神式共に供物の手配を承ります。